

同窓会 たより



千葉大学看護学部・
看護学研究科同窓会

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1

ホームページ <https://www.n.chiba-u.jp/dousoukai/index.html>

ご挨拶

同窓会会長 岡田 忍 (3期)

このたよりがお手元に届く頃は、初夏のさわやかな日差しがまぶしい季節になっていることと思います。同窓生の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

2020年1月に国内1例目の新型コロナウイルス感染症患者が報告されてから早くも2年が過ぎました。昨年度は、第5波、そして今までにない感染者数を記録した第6波と、様々な場で看護職としてはたらく皆様は忙しい日々を過ごされたことでしょう。しかし、同時に流行初期に感じていた新型コロナウイルス感染症に対する不安や恐れは軽減し、ウィズコロナの世界で暮らしていくための新しい生活様式はすっかり日常生活の中に定着化したようです。

同窓会の活動においても、2年続けて書面で行っていた総会を今年度はZoomで行うこととしました。2021年度の書面総会と併せて行ったアンケートの中でもZoomでの総会開催を希望する声が多く寄せられ、同窓生の皆様にとってもリモート会議システムがすっかり身近なものになっているのを感じました。総会に合わせて、同窓会企画も3年ぶりにZoomで開催することになりました。この原稿を書いている時点ではまだ企画の詳細は決定しておりませんが、きっと広報渉外委員会が素晴らしい企画を考えてくださると思い

ます。そして、どこからでも気軽に参加できるという新しいかたちで開催される総会・同窓会企画には、これまでになく多くの同窓生にご参加いただけるのではないかと期待しております。

看護学部・看護学研究科同窓会は、昭和55年(1980年)に1期生2期生の先輩方が中心になって設立されました。前述した総会や同窓会企画の開催、たよりや名簿の発行、準会員である学部生への支援といった同窓会の活動は、いずれもその際に作成された規約に基づいて行われているものであり、1期生2期生の先輩方が築いてくれた礎の上に現在の同窓会があるといえます。大変悲しいことですが、昨年、初代同窓会会長を務められた1期生の吉岡洋治さんがご逝去され、同窓会からもお悔やみの電報とお花をお贈りしました。改めて、先輩方が設立した同窓会活動をこれからも維持し、同窓生の皆様と母校をつなぐ役割を果たすことの責任を感じております。そのためには、会員の皆様お一人お一人のご協力が不可欠ですので、今後とも同窓会活動についてご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年度の活動方針は以下の通りです。

- ①学術集会参加費助成、図書館への寄付など現在実施している準会員・会員と同窓会のつながりを強化する活動を継続する。
- ②オンラインでの総会・同窓会企画、ウェブサイトを利用した会員情報の変更など同窓会活動におけるICTの活用を進めていく。

看護学研究院長挨拶

千葉大学大学院看護学研究院長 諏訪 さゆり (10期)

千葉大学看護学部の同窓会の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。令和4年度も、新型コロナウイルス感染症について難しい状況が続くことが予測されますが、同窓会の皆様には、この感染症に立ち向かいながらもご自身を大切にされ、安全で安心な時間を確保していただきたいと願っております。

同窓会の皆様には様々な場面で大学のことを応援していただいておりますが、おかげさまで令和4年3月も無事に卒業生や修了生を送り出すことができました。ここにご報告とお礼をお伝えいたします。

また、令和4年3月末で山本利江先生、野地有子先生、田中裕二先生が定年退職されました。先生方にこれまでご教示いただいたことを大切にしながら、これからも教育と研究の歩みを続けていく所存です。

令和3年4月より本学は改組して千葉大学大学院看護学研究院となり、あっという間に1年が過ぎていきました。看護学研究院は、研究組織として位置づけられています。そして、看護学部と看護学専攻(博士前期課程・博士後期課程)、附属看護実践・教育・研究共創センター・附属専門職連携教育研究センターの2センターを有し、看護学研究院に所属する教員や千葉大学その他研究院の教員が、千葉大学大学院看護学研究科や看護学部における教育に協働して参画できるようになっています。特に看護学研究科博士前期課程は、看護学コースと看護実践学コースの2コースから構成され、さらに看護実践学コースは、看護管理学プログラム、高度実践看護学プログラム(CNS育成)、特定看護学プログラムの3プ

ログラムに分かれています。しかし授業では、コースやプログラムを超えて大学院生が共に学ぶ共通基盤科目が多数開講されています。そのため、目指すものが異なる大学院生同志のディスカッションによって、相互に大きな刺激を受け学びが深まっています。

また、千葉大学として学部から大学院へのストレート進学者を増やし、若手研究者の育成に力を入れる方針を打ち出しています。千葉大学全学の博士後期課程の大学院生から優秀な学生を選抜し、生活費相当額と研究費の支給をはじめとした支援を行うことで、学修・研究活動に専念できる環境づくりをサポートする全方位イノベーション創発博士人材養成プロジェクトも実施されるようになりました。看護学研究科の多数の大学院生がこのプロジェクトに採択され、研究にまい進しています。

看護学部については、令和5年度から新カリキュラムでの教育を開始することを計画しています。社会の要請に応えることのできる看護専門職者を育成するために、全教員でこれまでのカリキュラム、科目を見直し、検討しています。教育のデジタルトランスフォーメーション(いわゆる、DX)化が進んでいることもあり、DXの特徴をしっかりと理解した上で、本学の新カリキュラムでも最大限の効果が得られるように活用していきたいと思っております。

研究においては、国際ジャーナルでの論文公表を強力に進めてまいります。本学の教員のほとんどが科研費に採択され研究を展開しています。その成果を国際ジャーナルで公表することで、これまで以上にグローバル社会に還元していきます。

生活様式、テクノロジー、価値観など、社会全体が大きな変革の時を迎えています。それは本学にも言えることです。チャレンジすること、変わることを怖れずに、常に、より高きものを目指していきます。これからも同窓会の皆様の応援をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

2021年度 総会報告

2021年度総会は、前年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大を予防する国の方針を受けて書面総会として開催しました。総会議事として、2020年度報告および2021年度議案について、同窓会たよりに掲載し説明させていただきました。

2020年度報告では、各委員会からの報告として、総務委員会から卒業生3名と準会員2名に対する学術集会参加費助成、名簿委員会から同窓会名簿の発行、たより委員会から同窓会たよりの発行、広報渉外委員会から書面総会に伴う同窓会企画の中止等についての活動報告に加え、会計担当から2020年度決算が、報告されました。

2021年度議案では、岡田会長から2021年度の活動方針の提案、各委員会の活動計画として、総務委員会からWEB会議導入と寄付への対応、名簿・たより委員会から委員会組織・活動の統合、広報・渉外委員会から40周年記念誌の公開等について説明があり、これらの活動に対して2021年度予算案が、提案されました。

総会議事に対する議決はWEBアンケートを以って決し、回答期限内に寄せられた200名の回答のうち全員より「承認」のご意向をいただき、2021年度の議案はすべて承認されました。2021年度書面総会へのご参加と、沢山のご回答、ご意見をお寄せくださり、誠に有り難うございました。

千葉大学校友会 **Curio** が **Facebook** に移行します

千葉大学校友会は学部同窓会会員、教職員、在学生等を会員として、千葉大学及び各学部同窓会の発展に寄与し、会員相互の親睦・情報交換を図ることを目的に2002年に設立されました。

千葉大学校友会では卒業生の皆様をはじめ、千葉大学を応援してくださる皆様へ情報発信を行うため、「千葉大学校友会Facebook」を開設していますので、ぜひフォローをお願いします。



千葉大学校友会 URL

<https://www.facebook.com/ChibaUnivAlumni/>



お問合せ先 千葉大学校友会事務局

koyukai@office.chiba-u.jp

資料 1

2021年度千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会
決算報告

※1 予算との比較（計算式）収入『決算－予算』、支出『予算－決算』、△表記⇒マイナス、無印⇒プラス

正会員の収支

項 目		予 算	決 算	予算との比較※1
収入の部	計	7,044,903	7,061,501	16,598
1. 会費	計	7,029,903	7,053,941	24,038
1) 繰越金		5,817,803	5,817,803	0
2) 2021年度新入会員終身会費（12,000円×103名） 内訳：学部卒業生78名 修了生25名		1,212,000	1,236,000	24,000
3) 利子		100	138	38
2. 寄付	計	0	1,560	1,560
1) 名簿購入時寄付		0	1,560	1,560
3. 名簿委員会	計	15,000	6,000	△ 9,000
名簿代振込（3,000円×2件）他		15,000	6,000	△ 9,000

支出の部	計	7,044,903	7,061,501	△ 16,598
1. 理事会	計	452,100	312,645	139,455
1) 会議費		10,000	0	10,000
2) 交際費 内訳： 校友会費（50,000円） 慶弔金（50,000円）※退官記念品等含む 亥鼻祭への寄付（50,000円） 学部オープンキャンパス運営補助（60,000円）		210,000	154,881	55,119
3) 準会員への支援 内訳： 学部学生への学術集会参加費助成（2021年度申請5件）		100,000	37,000	63,000
4) 千葉大学附属図書館亥鼻分館への寄付 内訳： 看護系専門図書寄贈 「早産児・低出生体重児の成長と発達のみかた」他21点		100,000	100,000	0
5) 人件費（事務作業費1,000円×10時間）		10,000	0	10,000
6) 通信費（同窓会用Zoom年間ライセンス契約費）		20,100	19,334	766
7) 雑費（振込手数料等）		2,000	1,430	570
2. 総務委員会	計	32,000	8,052	23,948
1) 会議費（交通費・茶菓子代）		10,000	0	10,000
2) 郵送費（事務連絡通信費） 内訳：評議員会通知用ハガキ20通		6,000	0	6,000
3) 人件費 内訳：総会託児アルバイト謝金5,000円/名※今年度実施無し		10,000	1,000	9,000
4) 消耗品費（評議員連絡用封筒・紙代・託児用品代等）		5,000	7,052	△ 2,052
5) 雑費（振込手数料等）		1,000	0	1,000
3. 名簿・たより委員会	計	1,252,816	963,276	289,540
1) 会議費（交通費・茶菓子代）		10,000	0	10,000
2) 名簿制作費（今年度実施無し）		0	0	0
3) たより印刷発送費		971,816	801,699	170,117
4) メンテナンス・データ処理		135,000	110,000	25,000
5) 個人票関係費（督促ハガキ印刷発送費、後納郵便代）		100,000	38,922	61,078
6) 会員情報訂正用ページのシステム管理費		11,000	0	11,000
7) 人件費（事務作業費1,000円×10.5時間×1名）		20,000	10,500	9,500
8) 郵送費（名簿購入者への郵送等）		2,000	1,110	890
9) 雑費（振込手数料等）		3,000	1,045	1,955
4. 広報・渉外委員会	計	389,000	330,715	58,285
1) 会議費（交通費・茶菓子代）		10,000	0	10,000
2) ホームページ更新費		45,000	24,200	20,800
3) 印刷費（同窓会企画周知用チラシ印刷）※紙面総会のため無し		0	0	0
4) 渉外費 内訳： 同窓会企画謝金（シンポジスト、あのはな音楽部） ※紙面総会のため無し 同窓会企画交通費 ※紙面総会のため無し 入学記念品作成代 （クリップボード500名分、ロゴ版代、印字代）（320,000円）		320,000	305,250	14,750
5) 消耗品費		1,000	0	1,000
6) 人件費（事務作業費1,000円×10時間）		10,000	0	10,000
7) 郵送費		1,000	0	1,000
8) 雑費（振込手数料等）		2,000	1,265	735
5. 予備費	計	4,918,987	5,446,813	△ 527,826
1) 2022年度への繰越金			5,446,813	

2021年度 千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会の会計監査を実施した結果、
収支共に正当であることを認めます。2022年4月8日
監査和佳 淑子
小川 純子

資料 2

2022年度千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会
予算(案)

項 目		予 算
収入の部	総計	6,559,823
1. 会費	計	6,550,823
1) 繰越金		5,446,813
2) 2022年度新入会員終身会費（12,000円×92名見込み） 内訳：学部卒業生81名 修了生11名		1,104,000
3) 利子		10
2. 寄付	計	0
3. 名簿委員会	計	9,000
名簿代振込見込み（3,000円×3件）		9,000

支出の部	総計	6,559,823
1. 理事会	計	453,000
1) 会議費		10,000
2) 交際費 内訳： 校友会費（50,000円） 慶弔金（50,000円）※退官記念品等含む（1名予定） 亥鼻祭への寄付（50,000円） 学部オープンキャンパス運営補助（60,000円）		210,000
3) 準会員への支援 内訳： 学部学生への学術集会参加費助成（上限10,000円×10件）		100,000
4) 千葉大学附属図書館亥鼻分館への寄付		100,000
5) 人件費（事務作業費1,100円×10時間）		11,000
6) 通信費（Zoom年間契約費）		20,000
7) 雑費（振込手数料等）		2,000
2. 総務委員会	計	33,000
1) 会議費（交通費・茶菓子代）		10,000
2) 郵送費（事務連絡通信費）		6,000
3) 人件費（事務作業費1,100円×10時間）		11,000
4) 消耗品費（評議員連絡用封筒・紙代・託児用品代等）		5,000
5) 雑費（振込手数料等）		1,000
3. 名簿・たより委員会	計	1,243,816
1) 会議費（交通費・茶菓子代）		10,000
2) 名簿制作費（2021年度作成済み今年度作成無し）		0
3) たより印刷発送費		971,816
4) メンテナンス・データ処理		135,000
5) 個人票関係費（督促ハガキ印刷発送費、後納郵便代）		100,000
6) 人件費（事務作業費1,100円×20時間）		22,000
7) 郵送費（名簿購入者への郵送代等）		2,000
8) 雑費（振込手数料等）		3,000
4. 広報・渉外委員会	計	145,000
1) 会議費（交通費・茶菓子代）		10,000
2) ホームページ更新費		45,000
3) 印刷費（同窓会企画周知用チラシ印刷）		55,000
4) 渉外費 内訳： 同窓会企画謝金 ※オンライン企画の場合（5,000円×4名予定＝20,000円） 同窓会企画交通費※オンライン企画の場合は該当無し 入学記念品作成代 ※2021年度に作成済み（クリップボード500個）		20,000
5) 消耗品費		1,000
6) 人件費（事務作業費1,100円×10時間）		11,000
7) 郵送費		1,000
8) 雑費（振込手数料等）		2,000
5. 予備費	計	4,685,007





2022年度同窓会総会のご案内

新緑の候、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。この度のご案内では、2022年度同窓会総会について、オンライン総会として開催させていただくことをご報告申し上げます。今まで以上に多くの皆様のご参加、ご意見をお待ちしております。

- 日 時：2022年6月19日（日）
14時30分～
- 会 場：オンライン（Zoom）
- 内 容：2021年度事業報告、決算報告、
2022年度役員選出、活動方針、
予算案、その他
- その他：13時00分～14時30分には、同窓
会企画を開催します。そちらも
ぜひご参加ください。

【2022年度総会へ参加くださる皆様へ】

*オンライン総会は、Zoomを使用して開催します。下記のURLにアクセスいただきご参加ください。

URL：<https://us02web.zoom.us/j/87132615585>

ミーティングID：871 3261 5585

パスコード：234462

会員限定の会となりますため、URL・ID・パスコードのお取り扱いには十分留意してください。

*当日の資料配布はございませんので、たよりを総会資料としてお持ちのうえ、ご参加ください。

*当日の会の様子は、録画させていただきます。ご了承くださいませ。



2022年度総会議案

2022年度の活動方針については会長の「ご挨拶」をご参照ください。2021年度決算報告書は資料1に、2022年度予算案は資料2に示します。また、新役員案を資料3、新委員会案を資料4に示しました。評議員会から継続して会長として岡田忍氏を推薦します。また、副会長に引き続き石橋みゆき氏、丸山優氏を推薦します。

資料3 2022年度 千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会 新評議員案

（ ）は卒業期

会 長 岡田 忍（3）	13期 常田 千佳 末永 由理	島村 敦子	39期 森元 花織 大和田理恵
副会長 石橋みゆき（14）	14期 石川かおり 石橋みゆき	27期 国原 健史 鉄矢 朋子	池田 結
丸山 優（21）	加藤美江子	28期 鈴木 悟子 宮川 祐子	40期 澤本 美冴 黛 瑛里香
評議員	15期 大塚 千春 飯野 理恵	29期 松岡 大樹 太田 愛	櫻庭 唱子
1期 伊藤 隆子	16期 新井 典子 飯島 久美	太田 潤	41期 川末菜央子 松村 彩
2期 田中 裕二 中村 伸枝	17期 北島 美奈 松林 美子	30期 佐野 元洋 渡邊 賢治	42期 小川 義弘 小田桐映舞
3期 岡田 忍	18期 神津 三佳 中嶋 秀明	31期 屋久 祐介 吉田 真美	43期 加藤美香子 峰木 瞳
4期 島田 尚江	永田亜希子	32期 山崎由利亜 橋内 伸介	44期 小川 華歩 原田 千聡
5期 酒井 郁子 本田 彰子	19期 藤本 紀子 齊藤 千晶	33期 伊藤真理子 松戸 麻華	修了生 仲井 あや
6期 兄玉三枝子 遠藤 恵子	20期 長瀬明日香 渡邊 美和	阿部由喜湖	
7期 亀崎 路子	21期 菅谷 綾子 時田 礼子	34期 青木 美和 石川 琴子	監 事 和住 淑子（10）
8期 湯浅美千代 山倉 美典	22期 山下 亮子 高橋 良幸	後藤 靖江	小川 純子（15）
9期 荻野 雅	23期 榊原理恵子 長谷川智子	35期 荻野穂奈美 霜村 菜奈	会 計 岩瀬 靖子（21）
10期 錢 淑君	24期 小川 俊子 秋山 愛	田中 貴大	山崎由利亜（32）
11期 野崎 章子 坂上 明子	村山 陽子	36期 川島 悠佳 加瀬竜太郎	佐々木ちひろ（34）
12期 末永 香 島田 広実	25期 伊藤 明子 松本美佐子	37期 工藤ひかり 田近 祐子	
河部 房子 石丸 美奈	26期 鈴木 和也 内海加奈子	38期 富田 千尋 矢崎 萌子	

資料4 2022年度 千葉大学看護学部・研究科同窓会 新委員会案

（ ）は卒業期

総 務 委 員 会	委 員 長	中水流 彩（24）			
	副 委 員 長	小川 俊子（24）			
	委 員	佐野 元洋（30）	森田由香理（31）	阿部由喜湖（33）	櫻庭 唱子（40）
名簿・たより委員会	委 員 長	雨宮 歩（26）			
	副 委 員 長	永田亜希子（18）			
	委 員	野崎 章子（11）	椿 祥子（23）	金井 友佳（29）	加瀬竜太郎（36）
広報・渉外委員会	委 員 長	時田 礼子（21）			
	副 委 員 長	石丸 美奈（12）			
	委 員	加藤美江子（14）	神津 三佳（18）	山下 亮子（22）	田中 貴大（35）
		佐藤 太一（35）	沓澤 夏菜（40）	坂口 葵（40）	

学術集会参加報告

平成25年度より、学部生の準会員に対して学術集会参加費を助成しています。また、卒後1年以内に卒業研究を発表する会員の学術集会参加費を助成しています。2021年度は6名に対して助成しました。2022年度も助成を継続し、多くの同窓生が学術集会に参加できるよう広報に力を入れていく予定です。

助成対象者	会員／準会員	学術集会名
荒井 菜月 さん	会員(卒業生)	文化看護学会第13回学術集会
河野 聡子 さん	準会員	①第17回JANSセミナー ②第23回日本母性看護学会学術集会 ③日本小児看護学会第31回学術集会 ④千葉看護学会第27回学術集会 ⑤日本地域看護学会第24回学術集会 ⑥第18回JANSセミナー
小野 あゆ さん	会員(卒業生)	千葉看護学会第27回学術集会
長嶺 眞生 さん	会員(卒業生)	千葉看護学会第27回学術集会
鯉江 真帆 さん	会員(卒業生)	千葉看護学会第27回学術集会
中村 麻美 さん	準会員	第9回看護理工学会学術集会

第19回 亥鼻祭開催のご報告

亥鼻祭実行委員会サークル実行委員長
医学部3年 浅野 祐介
医学部3年 梅澤 果那



令和3年11月7日、第19回亥鼻祭は完全オンラインで開催されました。今年度はHP、Zoom、Clusterの活用に加え、YouTube Liveで生配信を行いました。

Zoomでは千葉大学医学部附属病院総合診療科の生坂政臣先生の講演会と、新型コロナウイルスの情報発信を行うプロジェクト「こびナビ」の座談会を行いました。どちらも非常に興味深い講義で、参加者からの質疑応答も大変盛り上がりしました。

YouTubeでは亥鼻ダンスサークル、学生有志、バンド

サークルの公演や、医者芸人の「しゅんしゅんクリニックP」さんによる映像の配信がございました。YouTube生配信は亥鼻祭史上初の試みでしたが、非常に完成度の高い配信となり、反響も多数いただきました。

今年度も多くの先生方、企業・団体、保護者様からご寄付をいただきました。改めて厚く御礼申し上げます。今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

退官される先生方から

メッセージおよび教わったことについて

看護教育の新しいステージ

野地 有子

わが国の看護教育は明治中期に始まり、大正、昭和、平成、そして令和へと発展をとげ130年余りの歴史があります。日本最初の看護師といわれる大関和（ちか）は、私の高校の母校である桜井女学校（当時）に併設された看護学校で学び、実習病院であった東大病院の看護管理者として病院改革に尽力し、その後、わが国の訪問看護の基盤をつくりました。この日本最初の看護学校を立ち上げたツルー先生や大関知らの「女たちの約束」（亀山美智子先生が科研費でまとめられた著書）にあこがれと尊敬の念を抱いています。

千葉大学看護学部で看護学（学士）の教育が始まった昭和50年（1975年）は、大学での看護教育スタートの黎明期でありました。私は看護学部の1回生が入学された5月より一足はやく、同じ年の4月に教育学部の看護教員養成課程に入学しました。基礎看護学の授業では、薄井坦子先生から、「大学生の看護学生に教えるのは、あなた達のクラスが初めてです」と声をおかけいただき、



同窓会から記念品を贈呈しました

先生を囲み14名のクラスメートと一緒に弁当を広げた授業など思い出されます。そして、皆のお弁当の栄養カロリーを即座に概算された黒髪の美しい薄井先生を驚きをもって見上げておりました。授業は主に西千葉でしたが、実習のある時にバスに乗って亥鼻に来ていました。バスの中では、ある日乗客

のおじいさんに、「留学生ですか」と声をかけられるほどで、部活の硬式テニスですっかり日焼けしていたのだと思います。成人看護や手術室の実習は医学部本館でしたが、精神看護の実習あたりから、新病院に移りました。新病院は当時では東洋一といわれ、テニスコートから見上げていました。

およそ30年ぶりに千葉大学看護学研究科附属看護実践研究指導センター（当時）に教員として戻る機会をいただきました。懐かしい先生方との再会や若い先生方や学生の皆さんとの出会いから、あっという間に時が流れました。この間にも、看護学部・看護学研究院は着実に発展を遂げて、日々のFD、SDの積み重ねの成果であると実感しております。センターの仕事では、全国の大学病院の看護管理者の皆様や文部科学省の高等教育行政の担当者の皆様方、看護系大学の教員の皆様方と、継続した息の長い研修やプロジェクト研究をさせていただきました。千葉大学であるからこそ、させていただけた仕事でした。多くの思いがけない幸運な出会いセレンディピティ（serendipity）に恵まれました。同窓会の皆様にも応援いただきましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

全国に大学はおおよそ800校、その中の看護系大学は約300校まで増えてきております。我々看護学部・看護学研究院は学部卒業生や大学院修了生を多く輩出してきており、その歩みを止めることなく、より高きものを目指して看護教育の新しいステージに立たれることを、応援してまいります。

（令和4年3月12日 亥鼻にて）



「形態機能学」の教育および研究、そしてサークル活動の21年

生体看護学研究領域 田中 裕二

同窓会会員の皆様、お元気にご活躍のことと存じます。この21年間は新型コロナウイルス感染症の影響で、いろいろとご苦労されてきたと思います。私は令和4年3月31日をもって、千葉大学大学院看護学研究院を定年退職することになりました。千葉大学看護学部を卒業後、大学院看護学研究科修士課程の大学院生として機能・代謝学講座（現在の生体看護学研究領域）に進学しました。修了後、さらに生理学について知識を深めたいと思い、日本大学医学部生理学第一講座に助手として就職し、17年間勤務しました。私が勤務した研究室は神経生理学が専門領域で、高次脳機能、特に頭頂連合野の機能についてサルを用いて研究を行っていました。医学博士の学位を取得後、教授の紹介で約2年間、フランス共和国のリヨンにあるフランス国立衛生医学研究所第94ユニットに留学し、前頭連合野の機能について研究を行いました。1997年に日本大学医学部附属板橋病院救命救急センターで、脳低体温療法によって脳出血や交通事故などで意識障害に陥った患者の意識レベルが回復するということがテレビで放映されました。意識は高次脳機能に含まれる機能で、この頃から意識ということに興味を持ちました。また、救命救急センターの松月みどり師長から

は、「救命救急センターはいろいろなモニターを装着しているので、データの宝庫なの!」と言われ、意識障害患者の看護ケアについての研究を実施しようと思っていたところ、2001年5月に千葉大学看護学部にも異動することになり、研究を実施することができました。

千葉大学では、学部教育において、専門基礎科目では形態機能学Ⅱ（人体生理学）、代謝栄養学Ⅰ（生化学）、代謝栄養学Ⅱ（栄養学）を担当し、26期生（2000年入学）から47期生（2021年入学）まで関わりがありました。また、看護実践と研究Ⅰ～Ⅳや看護基本技術Ⅰ、そして、専門職連携（亥鼻IPE）にも関わり、領域の異なる先生方から多くのことを学ばせていただきました。学部約50名もの専門の異なった看護学の教員が在籍していることは他大学ではないことで、多くの貴重な経験ができたと思います。また、専門基礎科目をどのように専門科目と連携するかについて考えていましたが、結局、臨床系の先生方と十分な検討ができなかったことは残念でした。今後の看護基礎教育では、形態機能学以外の看護基礎科目との水平的統合教育や専門科目との垂直的統合教育によって有機的に統合されたカリキュラムを構築していく必要があると思います。看護実践と研究Ⅳ（卒業研究）では、毎年、生体機能について研究したいと希望する学生が多数集まり、先に述べた意識レベルを高める看護ケアについての研究を卒研生と一緒に実施し、学術集会での発表まで行うことができました。実験の実施、研究報告書の作成、そして学会発表の準備などを通して千葉

大学看護学部の学生の能力の高さを感じました。このような素晴らしい学生を選抜し、さらに看護学部を発展させていただきたいと思います。また、科学研究費補助金を獲得し、20年前に留学した研究者と連絡を取り、日本とフランスの意識障害患者の看護ケアの国際比較も行うことができました。

次にサークル活動ですが、28期生（2002年入学）が中心になり、チアリーディングサークル「舞部（ぶぶ）」が2004年5月12日の「看護の日」に看護学部唯一の公認サークルとして設立されました。2004年の春休みにサークルを設立したいということで、私に顧問教官の依頼がありました。それから18年が経過しましたが、毎年入部する学生がいて、現在、44期生（2018年入学）～47期生（2021年入学）までで約40名の部員が在籍しています。部員の中には、舞部に入部したくて千葉大学看護学部に進学したという学生もいました。夏のオープンキャンパスや秋の亥鼻祭で演舞し、看護学部のPR活動も行っています。彼女達と接していて授業ではわからない一面も感じ、学生の個性を引き出すにはどのようにしたらよいか考えさせられました。この2年間は新型コロナウイルス感染症の影響で、十分な活動ができなかったことを残念に思います。さらに舞部の活動が継続されることを願っています。なお、2022

年度からは顧問教官は理論看護学の飛世真理子先生にお願い致しました。

3月で退官しましたが、9月には千葉看護学会第28回学術集会会長として学術集会を開催します。学術集会のテーマは、「からだの仕組みを知ることによる看護実践—基礎研究と臨床実践の往還—」です。これまでの教育および研究を関連づけて、専門基礎科目の重要性について討論できればと思います。そこで、皆様とお目にかかりたいと思います。卒業生や修了生の皆様には是非とも演題登録や参加登録をお願いする次第です。4月からは福岡県の新設医療系大学で教員を継続することになりました。これまでの看護学部で経験したことを生かして、千葉大学看護学部に近づくことができるような看護学部を作るために努力を傾けたいと思います。

最後に、千葉大学大学院看護学研究院のますますの発展とともに、それを支える看護学部・看護学研究科同窓会および同窓生が連携し、支援していただきたいと思います。微力ながら、私も関わりたいと思います。長い間、いろいろとありがとうございました。



同窓会から記念品を贈呈しました

山本先生から教わったこと

椿 祥子 (23期)

23期生の椿祥子です。ご退官される山本先生からのメッセージの代わりに、私が山本先生から教わったことと感謝の意をお伝えさせていただきますと思います。

山本先生には、最後まで怒られっぱなしで、山本先生の期待には応えられませんでした。一つだけ確かなことは、「山本先生に出会わなかったら、私は看護の楽しさも価値も、力も責任も、今のように分らなかった」ということです。

山本先生からのご指導で最初に印象に残っていることは、大学4年生の卒業研究です。実習で教員と看護師に正反対の助言をもらい困った体験について、理論を用いて捉え直しました。そうすると、正反対の意見ではなく、見ている視点が違ったのだということがわかり、同じ事実でも光の当て方で全く違う性質になることを知り、魔法にかかったようで、とても興味深かったことを覚えています。

その後、就職した障害児入所施設で初めて受け持ったのがAちゃんでした。Aちゃんは、両親の都合で自宅生活ができず、長期入所していました。重度の身体障害と中等度の知的障害があり、思春期で、自宅に帰りたいのに帰れず、6人部屋でのストレス、介助を待つストレス、学校生活のストレスなど、多くのストレスを抱え生活していました。受け持ちになって間もない頃、楽しみにしていた数年ぶりの家族との外出から帰ってきた後、トイレ介助で1対1になった時のことです。Aちゃんは「お母さんにもう来ないでって言った」と言って涙を流したのです。20代で比較的恵まれて育ったその時の私は、Aちゃんは家族との外出を楽しんできたと思っていたので、その言葉の意味も涙を流した理由も分かりませんでした。家族のことも、障害も、入所生活の環境も、Aちゃんを悩ませ苦しめていることのどれも私には解決できず、どう関わったらよいか分からなくなり、卒業研究でお世話になった山本先生に半泣きで相談しました。山本先生は、「社会的自立に向かう時期でしょ。社会的自立の力を付けたら、もしかしたらこの子が自分で家族との関係もどうにかできるかもしれないよ」とおっしゃいました。「今の問題の一つずつ解決するという方向ではなく、児の力をつけていくことが、今解決困難な問題を将来解決する糸口になるかもしれない」という、これもまた、見方が大きく変わる体験でした。それから、Aちゃんが自分で言い出した「一人暮らし」という目標に向かって、日々の生活の全てをAちゃんと工夫し、挑戦し、乗り越え、笑っ

たり泣いたり怒ったりしながら過ごしました。数年を経て、高校卒業の頃には、できることが増え、職員の状況を見て介助依頼をし、職員や幼少の他児を気遣うようになるなど社会関係力もつき、大きく成長しました。そして、年下のきょうだいがAちゃんを慕うようになると、きょうだいと共に母も面会に来るようになり、家族で和やかに過ごす姿がみられるようになりました。私は、その姿を見て「数年前に山本先生がおっしゃったように、Aちゃんの力がつくことで本当に家族の関係が良い方向になった」と思いました。高校卒業後、Aちゃんは、結局一人暮らしはできず、施設に入所となりました。それから約10年後の昨年、コロナ禍で施設は外出・面会禁止の期間が1年半以上続き、Aちゃん（もうAさんですが）は精神的不調が出てきてしまいました。しかし、それに自分で気づき、「一人暮らしをしたい!」と思い、重度の身体障害で一人暮らしをしている友人を思い出して連絡を取り、ヘルパー事業所を紹介してもらい、所長と面接をして協力を取り付けました。そして、入所施設の施設長に退所希望を伝え、母の承諾が必要と言われると、様々な手段で母に連絡を取り、伝える内容も工夫しました。結局、母から返事は得られませんでした。一連の対応を施設長が認めてくれ、無事施設を出て、一人暮らしを始めました。コロナ禍で自由に外出はできませんが、週1回ヘルパーさんと買い物に行き、自分で食材を選び、冷蔵庫にあるものを見てその日の食事内容を決め、ヘルパーさんに調理依頼をしているようです。バランスを考えて食事摂取していると得意げに報告があり、笑顔でカレーライスを手作りしている写真が送られてきました。私は、Aさんが15年前に身につけた社会的自立に向かう力を活用して、自分で一人暮らしができる状況をとのえたことに本当に感心しました。Aさんと出会ってから約15年、関わっていた数年間看護の楽しさや価値を教えてもらい、15年後の今、「思春期に社会的自立に向かう力をつけることは、15年後の人生の質を大きく変える」ということを教わりました。今の看護が10年後15年後の未来の生活の質に影響を及ぼすと考えると、看護の力と責任を強く感じます。

Aさんが一人暮らしできたのも、私が看護の楽しさと価値を感じ、力と責任を学ぶことができたのも、始まりは山本先生の「社会的自立に向かう時期でしょ」という一言からです。私は、4月から障害児通所施設を運営します。そこで、山本先生とAさんから教えてもらった、「10年後15年後の将来を見据えて今の看護をする」ことを通して、山本先生の教えへの返礼とさせていただきたいと思っています。誠にありがとうございました。

登録データの変更について

昨年度より、登録データに変更がない方は返信不要になりました。登録データに変更がある方は、WEBページか個人票のどちらかで登録データの変更をお願い致します。また、「近況報告」ご希望の方、総会について「非承諾」・ご意見のある方も、このどちらかより6月末日までにご登録をお願い致します。

＜WEBページによる登録データ変更、近況報告、総会へのご意見登録方法＞

<https://ours1.net/chiba-univ.nursing/> にアクセスします。

右のQRコードからでもアクセス可能です。 →

ID: chiba-univ.nursing
パスワード: dosokai

「登録情報変更あり」をクリックして内容を入力し送信してください。
ご自分のメールアドレスにも確認メールが届きます。近況報告や総会へのご意見は「登録情報変更なし」をクリックし、ご登録ください。



登録データ更新・変更
WEBページ QRコード

＜個人票による登録データ変更、近況報告、総会へのご意見登録方法＞

変更・訂正事項記入欄に修正内容をご記入、または近況報告や総会へのご意見をご記入ください。
同封の個人情報保護シールを上貼して、ご返送ください。

変更方法に関する注意点

- ☆勤務形態、設置主体、職種、職位はコード表から番号を選択してください。
- ☆現在学生の方は最終学歴の「学校名」の欄に学校名を記し、(在学中)とご記載ください。勤務を続けたまま学生をされている方(科目等履修も含む)は、勤務状況と学校名の両方のご記載をお願いいたします。
- ☆名簿に連絡先の掲載を希望しない場合は、該当する記載欄に(不掲載)とご記載ください。

個人票による登録データ変更および、近況報告、総会へのご意見の締め切り

2022年6月末日までお願いいたします。

WEBページでは1年中、登録データの変更が可能です。

登録データに変更がありましたら、WEBページまたは個人票の返送により必ず変更してください。

登録データは、同窓会からのあらゆる連絡(たよりの発行、名簿の発送など)のために使用しております。また、卒業生・修了生の現在の活動状況を知る重要かつ唯一の資料となっておりますので、必ず登録データの変更をしてくださるようお願い申し上げます。

！名簿の情報流出にご注意ください！

同窓会では、皆さまから集めた個人情報は厳重に保管し、また名簿も信頼のおける業者に作成を依頼しており、こちらから個人情報が流出することは一切ありません。昨年度、名簿発行後に情報が流出したと考えられる事例が報告されております。皆さまのお手元にある名簿の管理については充分にご注意いただきますようお願いいたします。古くなった名簿を破棄する場合には裁断(シュレツダ)するなどしてデータが万が一にも流出しないよう管理の徹底をお願いいたします。また、登録データ変更用のWEBページは個人情報保護のため送信専用としておりますが、ID、パスワードは会員外の方と共有することのないよう、ご協力をお願いいたします。

令和4年度 大学院看護学研究院 教員紹介

研究部門	講座	教授	准教授	講師	助教・助手	技術 / 特任
先端実践看護学	高度実践看護学	岡田 忍	佐藤 奈保	小川 俊子	仲井 あや 中水流 彩 楠 潤子 佐野 元洋 佐伯 昌俊	(技術専門職員) 西尾 淳子
		中村 伸枝				(特任研究員) 國武由香里
		眞嶋 朋子				(特任専門職員) 佐藤 睦
		増島麻里子				■西宮 岳
生活創成看護学	高齢社会実践看護学	酒井 郁子	石橋みゆき 黒田久美子		佐々木ちひろ	(特任助教) 山崎由利亜 (特任助教) 石井 彩 (特任助教) 楊 惠晴
		正木 治恵				
		小宮山政敏				(特任助教) 田原裕希恵
		森 恵美				(特任准教授) 岩田 裕子
文化創成看護学	健康増進看護学	北池 正	前原 邦江		雨宮 歩 木村佳代子 遠山 房絵	(特任助教) 榎 あさな
		池崎 澄江				
		田上美千佳				(技術補佐員) 星野久美子
		宮崎美砂子				(技術補佐員) 佐藤 太一
文化創成看護学	地域創成看護学	石丸 美奈		野崎 章子 岩瀬 靖子	鈴木 美央 鈴木 悟子 坂井 文乃 湯本 晶代	(特任講師) 飯田貴映子 (特任助教) 犬山 彩乃 (特任研究員) 川上 奈々 (特任研究員) 芥田 ゆみ
		諏訪さゆり				
		文化看護学				(特任助教) 齊藤 可紗
		専門職育成学				(特任講師) 臼井いつみ (特任講師) 孫 佳茹
文化創成看護学	看護政策・管理学	中山登志子	井出 成美	高木 夏恵 飯野 理恵	飛世 真理子 宇田川 友佳 カズノブ ダビッド (助手) 植田満美子	(技術補佐員) 田代 実香
		和住 淑子				
		手島 恵				(技術補佐員) 米田 礼

* 下線…正会員 ■ 特命助手

ご存知ですか？卒業生・修了生が利用できる学内資源

①図書館

メールで事前申請のうえご利用できます(亥鼻分館の場合は図書の貸出2冊・2週間)。詳しい利用方法は千葉大学附属図書館ホームページ「学外の方へ」をご覧ください。
<https://www.ll.chiba-u.jp/guide3.html>

※本館(西千葉)と亥鼻分館では予約方法が異なりますのでご注意ください。

その他、利用上の注意事項がありますので、詳しくは上記アドレスをご参照願います。

②各講座開催の勉強会

各講座の勉強会等に卒業生・修了生も参加可能なものがあります。詳細は千葉大学大学院看護学研究院ホームページ「教育・研究」の教員一覧 https://www.n.chiba-u.jp/education_research/teacher/index.html から各教員のメッセージ欄にあるリンクをアクセスし、各講座のホームページをご覧ください。

また文化看護学講座(基礎看護)では、演習時の患者役ボランティアにご協力いただける方を募集しています。ご興味のある方は、文化看護学講座 助教の宇田川までご一報ください。

昨年6月には亥鼻キャンパス構内にレストランカフェがオープンし、天気の良い日にはテラス席でのんびり過ごすこともできます。感染症対策のため難しい時期もありますが、日々の看護実践や研究活動などに大学の資源をぜひご活用ください。